



1 本時の目標を提示するのは何のため？

この授業を通して、どのような資質・能力が身に付くのか、英語を用いて何ができるようになるのか、学習の目的や方向性をあらかじめ明らかにし、1時間の見通しを生徒にもたせるためです。そのために、教師は単元の目標を踏まえ、その授業で生徒に身に付けさせたい資質・能力は何かを明確にする必要があります。



佐賀県教育委員会「授業づくりのステップ 1・2・3」を基に作成

2 本時の目標を設定する際のポイント

- ・ 単元の目標を踏まえ、本時において身に付けさせたい資質・能力は何かを考える。
- ・ **目標を達成した生徒の姿**を具体的にイメージした上で設定する。
- ・ 本時で取り扱う**話題や表現内容、表現方法や工夫、活動目的などの視点**を基に設定する。
- ・ 思考力、判断力、表現力等を育成する言語活動においては、どの言語材料を使えばよいのかについては生徒自身に考えさせるため、目標の中に**言語材料を明記することは避ける**。

山田誠志「全国の実践から学ぶ 中学校英語教育35のポイント」を基に作成

3 単元の目標を踏まえた本時の目標例

「2 本時の目標を設定する際のポイント」を踏まえた目標例と改善の余地がある目標例等を以下に示します。

○「話すこと[やり取り]」

単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

本時の目標

OK

自分の考えや感想をまとめるために、教科書の対話文を読み、野菜の歴史について、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。

NG

教科書の対話文を読み、野菜の歴史について、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合うことができる。



NG ポイント

☐ 活動目的を示していない

○「書くこと」

単元の目標

学校ホームページのアクセス数を増やすために、学校行事や部活動等について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

本時の目標

OK

学校ホームページに掲載するために、学校行事や部活動等について、事実や自分の考えを整理し簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

NG

学校ホームページに掲載するために、現在進行形を使って、学校行事や部活動等について、まとまりのある文章を書くことができる。



NG ポイント

☐ 表現の方法を示していない
☐ 言語材料を明記している